

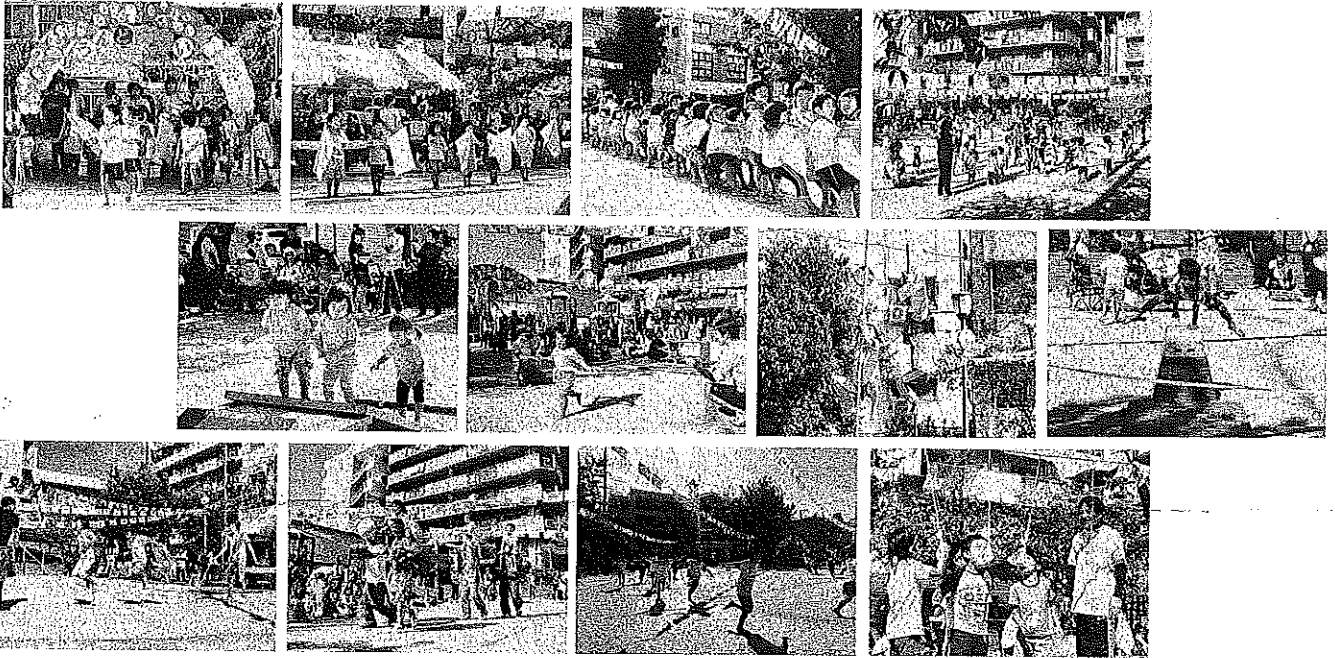
みんなであゆみ

只今後援会会員
315名
(目標1000名)

テーマ「元気いっぱい 力をあわせて」

すっきりした秋晴れの下、2013年度うんどう会が開催されました。外から参加された方から「楽しい運動会だったね」「子どもたちがほんたによくがんばったね」「発達段階がよくわかり、一人ひとりが主人公になっていたね」…と好評をいただきました。運動会はできる、できないがはっきり見えるので、つい結果にこだわりがちになりますが、子ども自身が課題に向かってどれだけ一生懸命にとりくむことができたか、を大切にしてきました。

乳児も幼児も元気いっぱい持っている力を十分に発揮することができ、いい顔をして終わることができました。また恒例、保護者の仮装(クラス毎に動物、お化け、天狗、黒猫、豹)もそれぞれに工夫を凝らしており、運動会を大いに盛り上げてくれました。



うんどうかい
10月13日(日)
威本公園(保育園前の公園)

あそぼうかい
10月16日
あゆみ保育園

あゆみ保育園では、毎月1回未就園児の親子に保育園に来ていただいて、同年齢の子どもたちと一緒にリズムをしたりあそんだり、散歩に行ったりする「あそぼう会」を行っています。0歳児は「赤ちゃんあそぼう会」として別に、おひさま児童デザインサービスの先生方の援助を得ながら、赤ちゃんマッサージや子育て相談など行います。今月も、赤ちゃん7家庭、幼児8家庭が参加してくれました。



13年度
あゆみ後援会
会費納入が
まだの方へ

- あゆみ後援会をよろしくお願ひ致します。
年会費 一口1000円(何口でも可)
- 納入方法
直接保育園へもってきていただくか
下記振替口座へお願ひします。
- 振り込み先
口座番号 01300-9-65126
加入者名 あゆみ後援会

子育て講演会の「案内」
11月30日(土)
10:00~11:30
あゆみ保育園2階
(おひさまの部屋)
テーマ
「集団の中で豊かに育つ」
講師 石川幸枝先生
(元広島 高陽なかつし保育園園長)
参加費 500円
※あゆみ保育園保護者は無料
保育 100円
(おやつ代)
※事前申し込みが必要です

全国学童保育研究集会に参加して...

10月5日、6日に岡山で行われた全国学童保育研究集会に参加してきました。
 1日目の全体会では、420人の子どもたちによる歓迎行事が行われ約5000人集まった会場の人たちに感動を与えてくれました。タップダンスや手話を披露してくれて、夏休みから一生懸命練習したことがよく伝わった歓迎行事でした。

次の特別報告では、東日本大震災で被災された3つの市の方のお話でした。見慣れた景色が波にのまれていくところを目の当たりにしたり、映像で見たり：公民館の屋上などに逃げたものの波にどんどん飲まれていく車を見てこれからどうなっていくかの不安な気持ちを抱えた子どもたち。震災後、壊れた建物で再開させるわけにもいかず、貸してくれる建物を探す毎日で、幼稚園の空き教室を借りたり市役所の広い台所など慣れてない場所での保育子どもたちもストレスがたまっていたと言ひ争いも増えたそうです。でも、同じ体験をした子ども同士の中で励まし合い支え合っていく中で潜りぬけてきたそうです。涙ながらにお話されて、私たちは当たり前に電気がつき、温かいご飯を食べることができて、温かい布団で寝れる、当たり前だと思っている毎日に感謝をしながら楽しい学童を作っていきたいと考えることができた特別報告でした。

記念講演では静岡岡出身の子どもの教育フォーラム代表/教育・心理カウンセラーの富田富士也先生の「子ども叱るな来た路じゃ、年寄り笑うな往く路じゃ」学童保育はみんなの還る家」というお話でした。ハンドマイク片手に、「僕の話は耳で聞く話でも頭で考える話でもない、毛穴(五感)で感じてください」とおっしゃいました。

「皆さんは甘えられますか？」と言う質問から、人を信じる勇気がなければ人は人に甘えることができない、小さいころ手をかけてもらえなかった子どもは甘えたくても甘えることができない経験から、人は人になかなか甘えることができませんくなっていくそうです。

このお話を聞いて学校から帰ってきた子どもたちの、「つかれたー!!!」「面倒くさい!!」「いや!!」などの言葉も、甘えることができてからこそその本音の言葉だと受けとめようと思いました。今までは、甘えることはいいことではないと思っていた自分もいましたが、人に甘えることとはとても大切なことで、子どもも甘えたい、大人も甘えたい。甘えあって支え合って、信頼関係を築いていけたらいいなと思えました。

初めての全国学童保育研究集会で色んな方の色んなお話を聞けてとってもいい勉強になりました。

あゆみ学童クラブ指導員

宮前千恵

あゆみ がんばったね

“運動会がんばったね”パーティー

10月17日

メニュー 手巻きずし・豚汁・フルーツポンチ

あゆみでは、長期間とりくむ行事(プール・運動会・発表会)が終わると、“〇〇がんばったねパーティー”を行っています。乳児も幼児も一緒に行い、がんばりメダルやがんばりカードをもらって、自分がどんなことを頑張ったかみんなの前で発表し(年齢によっては保育士が代弁)拍手してもらいます。自信たっぷりな子どもちょっと恥ずかしそうな子どもいますが、どの顔も嬉しさいっぱいのいい表情でした。

そして、みんながクッキングした料理で会食。今回はうさぎ・らいおんぐみ(1・2才児クラス)がレタスをちぎり、きりんぐみ(3才児クラス)がきゅうりとたくあんを切る、ぞうぐみ(4才児クラス)がフルーツを切る、くじらぐみ(5才児クラス)がたまご焼きを焼く係り...と担当を決めて準備しました。(残りは給食先生が)

「今日は手巻きずしの食べ放題よ!」と朝から張り切っていた子どもいるくらいで、幼児は自分で好きな具材を巻くのも楽しくて、何回もおかわりしている子どもいました。



あゆみO.B.リレーエッセイ VOL.33

「あゆみと私」

安西 美由紀

東京に住んでいた私たち家族が、夫の仕事で呉で暮らしたのは5年間。その間に、娘、雪乃は3年間あゆみ保育園にお世話になった。卒園と同時に東京に戻って1年半が経つ。

東京で暮らしていて、公園の緑を見て思い出されるのは、呉の山々、海。

あゆみは、都会の幼稚園ではなかなか経験できない、自然との触れ合いの中で体を動かすことを大切にしている、それがとても良かった。長距離のお散歩、かるが浜のアスレチック、海水浴など。子供は少しぐらいケガをしながら、体の使い方を覚えていくのだと思う。あゆみではそれを経験させてくれた。

今の娘を見ていて、あゆみでのたたくさんの経験の中から身に付いたと感謝することはいろいろあるけれど、今回は2つのことについて触れた。

1つは、自分の荷物自分で準備し管理すること。学校の支度、習い事の準備はもちろんだけれども、お泊まりの準備も、親がほとんど手伝うことなく準備できる。もちろん忘れ物もあるけれど、あゆみでは、大人が手を出してしまえば短時間で済むところを、先生方が子供ができるまで待っていてくれた。お手続きタオルや道具箱の管理、プールでの着替えなど日々の生活の中で、娘に身に付いたことだ。

もう1つはクッキング。包丁は危ないから持たせないのではなく、危ないから使えるようにする。ピーラーや包丁を使って、野菜の皮をむき、切るという経験。そして、みんなで一緒に料理を作って食べる楽しさ、うれしさの実感。あゆみのクッキングの日は、娘はいつもワクワクしながら登園し、家に帰ってから、嬉しそうにクッキングの様子を話していた。

娘は、あゆみに入る前から一緒にキッチンに立ち料理をしていた。あゆみでさらにクッキングが好きになり、家での回数も重ねて、包丁使いが上手になっている。今年の夏休みの自由研究は、娘1人で夏野菜カレーとサラダを作り、レシピ本を作って提出した。

娘は「ふるさと」という言葉を耳にすると、あゆみの同級生、呉を思い出そう。今年の夏、2月に生まれた息子も一緒に家族4人で呉へ旅行した。同級生家族が集まってくれて、1泊旅行の楽しい時間を過ごした。

再会の時に「お帰り。」と笑顔で迎えてくれる仲間とのつながりを、いつまでも大切にしたい。